

芸術鑑賞会

オペラ「魔笛」鑑賞

6月21日（木）に日比谷の日生劇場にて、中学3年生・高校2年生はオペラ「魔笛」を鑑賞しました。「魔笛」はモーツァルトが生涯の最後に作曲したオペラで、世界で最も上演回数が多いオペラの一つと言われる名作です。

前日の事前学習の段階から生徒たちは鑑賞会を非常に楽しみにしており、事前に曲を聴いて鑑賞会に臨んだ生徒もいました。今回の公演は生徒たちが親しみやすいように演出に工夫がなされており、生徒たちも大いに楽しんだ様子です。演奏された曲の中には、生徒たちが洗足オーケストラで演奏したことがある曲もあったとのことで、ストーリー、オーケストラの演奏、キャストの方々の歌唱、舞台装置や衣装などが一体となったオペラの真髄を心から堪能したようです。また、ストーリーから「愛」とは何かについて考えた生徒もいました。

個人的にオペラを見に行きたい、他の演出家の「魔笛」を見に行きたい、などの声も多数上がっており、オペラへの興味関心が一層高まった芸術鑑賞会になりました。